

鳥インフルエンザを知ろう

鳥類がA型インフルエンザウイルスに感染することをまとめて鳥インフルエンザといいます。このうち高病原性の鳥インフルエンザウイルスにニワトリなどの家きんが感染すると、その多くが死亡してしまいます。

●鳥への感染について

鳥同士の接触によって鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性があるため、鳥を飼っている方は、飼っている鳥が野鳥と接触しないようにしましょう。

また、野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことによって、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがあるので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。

●人への感染について

日常生活において野鳥など野生動物の排泄物等に触れた場合は、手洗い・うがいをいただければ、過度に心配する必要はありません。

●死亡野鳥をみかけたら

鳥も様々な原因で死ぬので、死んだ野鳥が必ずしも鳥インフルエンザウイルスに感染しているわけではありません。外傷がないなど原因不明の野鳥の死体が連続で発見される場合は、西部総合事務所または各役場にお問い合わせください。

問 | 日野振興局 中山間地域振興担当 電話 :0859-72-2081 FAX:0859-72-2072
西部総合事務所生活環境局 生活安全課 電話 :0859-31-9628 FAX:0859-31-9333

今こそ農林水産業に女性の力を

農林水産業の経営向上、産地の発展には女性の力が不可欠です。今年度、県では「今こそ農林水産業に女性の力を！自主参画推進事業」を創設し、女性の活躍を後押しする取組みを行っています。

日野農業改良普及所は、郡内において農業でがんばる若い女性に集まっていただき、11月24日（火）に研修会兼交流会を開催しました。

研修会は、事例発表者として指導農業士の松原佐喜恵さん（西伯郡伯耆町）を招き、「儲かる農業を目指して！」と題し、儲かる農業を目指して実践されてきた農業のやり方や考え方について話を伺い、意見交換を行いました。またアメダス茶屋のイタリアンシェフ坪倉完洋さんに、ひ



指導農業士と参加者で意見交換

と手間でワンランク上の料理になるシェフの技を教えていただきました。

交流会では、子育てと農業の両立などの悩みや農業経営をする上で普段考えていることを意見交換しました。事例発表者の松原さんは、「農業は自分次第でいかようにもなる職業。気持ちの持ち方と行動力で変わることができる」と力強くアドバイスされました。

参加者の感想は、「前向きな考え方が学べ参考になった」「話をしてストレス発散になった」などでした。また、このような研修会の機会を求め声が多かったです。

今、女性の「担い手」としての活躍がますます期待されています。日野郡の農林業において女性がより一層元気になり、存在感が高まることが大切だと思います。普及所では今後も、各人が目指す農業経営に近づくための研修会など“場づくり”をしていこうと考えています。

今、女性の「担い手」としての活躍がますます期待されています。日野郡の農林業において女性がより一層元気になり、存在感が高まることが大切だと思います。普及所では今後も、各人が目指す農業経営に近づくための研修会など“場づくり”をしていこうと考えています。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話 :0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

平成28年度 河川・道路愛護ボランティア募集

鳥取県では、県が管理している道路、河川等の環境美化や維持管理に積極的に参画していただける住民団体を募集し、その活動に対して支援を行っています。

地域の河川や道路の環境美化・維持管理に皆さんの力をお貸しください。活動を始める前に、まずはボランティア団体登録が必要です。詳しくは、日野県土整備局維持管理課までお問い合わせください。



<活動内容> ・道路の清掃、除草又は植栽管理若しくは歩道除雪
・河川の清掃、除草又は植栽管理 ・公園の整地、清掃、除草又は植栽管理

参画型ボランティア促進事業	協働型ボランティア促進事業	スーパーボランティア支援事業
自主的な環境美化（清掃・除草）を行う団体に対し、活動の実施に必要な援助を行います。	一定区間の維持管理（除草・植栽管理・除雪等）を行う団体の活動を支援します。	公園、河川敷等を活用した地域づくりや賑わい創出の活動と併せて適切な維持管理を継続して行う団体の活動を支援します。
規模…任意 奨励金…参加者 100円/人・時間 草刈機等 100円/台・時間 (上限10万円/年)	規模…道路 0.5km以上 河川 0.2ha以上 植栽柵 50㎡以上 交付金…河川・道路・公園等 40円/㎡ 植栽柵 500円/㎡ 歩道除雪 10円/m (上限40万円/年。ただし、歩道除雪は10万円/年)	規模…活用する公共空間の範囲 交付金…河川・道路・公園等 40円/㎡ 植栽柵 500円/㎡ (上限60万円/年) 簡易施設設置交付金… 施設設置の原材料費等の額 (1団体につき50万円まで)

問 | 日野県土整備局 維持管理課 電話 :0859-72-2046 FAX:0859-72-2092

日南トマト 新品種“りんか409”で生産量アップ

日南町では、長らく桃太郎シリーズのトマトを栽培していましたが、夏場の裂果、着果不良が生産現場での大きな課題でした。そこで、昨年新たに誕生したJA日南トマト生産部青年部会から「試験地や他産地で実績の上がっている品種の“りんか409”を栽培し、実際に儲かることを確かめたい！」という声が上がったのを契機に、検討が重ねられ、今年から生産部栽培面積の約6割という規模で導入されることになりました。

11月13日時点で、出荷量は95,660ケースで対前年比114%となっています。実際にりんか409を導入した生産者からは、「着果が良い裂果も少ない」「規格外で捨てるトマトが減った」「15年以上栽培して初めて反収10tが達成できた」「味もおいしい」「来年は全部りんか409に変えたい」といった喜びの声が続々と届いています。

生産部に導入を提案した青年部長の岩田真也さんも、初めての挑戦で不安だったようですが、この結果に喜びを噛みしめておられます。

今年、日南トマトは地域団体商標の取得や作付ハウスの拡大と勢いづいています。日野振興センターも、引き続き日南トマトの振興を支援したいと思っています。



トマトの管理をする岩田青年部長

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話 :0859-72-2026 FAX:0859-72-2090